

関越自動車道、魚野川橋の橋脚工事はじまる。(中山より魚野川内の現場を望む)

### 冬の交通事故防止運動・53.12.11～54.1.10

■ 飲酒運転の追放

■ スリップ事故の防止


■ 夜間事故の防止

■ 踏切事故の防止

■ 県内の交通事故

52年 - 53年(1～10月)

件数	7,046件	6,642件
死者	202人	196人
傷者	8,839人	8,366人



**家庭の医療**

暖房すると暖かい空気は上に、冷たい空気は下になりますので、上下の空気の対流をよくして室内を平均した温度にすることが大切です。

寒くなりました。お宅の暖房はいかがですか。われわれが快適だと感ずる温度条件は、季節、年齢、性別、衣服によって、それぞれ異なります。したがって、だれもが快適と感ずる温度は一定しないわけです。

しかし、一般的にいえば、気温が摂氏十三度以下になると、われわれのからだは、じっとしていても手足などを動かさなければ、しだいに冷えてきます。皮膚血流量の研究の結果からいえば、摂氏十六度以下になると、

**鼻やノドの粘膜乾燥**

**暖房時は加湿を忘れず**

また、暖房すると湿度は低くなり、空気が乾燥し、鼻やノドの粘膜も乾き細菌感染が起りやすくなります。このために湯気を立てるなど加湿が必要です。

こういった条件などからみると、普通に生活している状態の場合、シーズンに合った衣服を着て、気温が摂氏十七～二十五度、湿度四〇～七〇%、風速が秒速五十センチ以下というときに、「快適」と感ずる人の割合がいちばん多いようです。

このほか、



### 町民1人当りの納めた額は

たばこ消費税 2,647円	軽自動車税 381円	固定資産税 12,421円
電気・ガス税 1,748円	その他 511円	町民税 8,052円
合計 2万5,760円		

### 町民1人当りに使われたお金は

民生費 52,620円	議会費 4,057円	商工費 3,775円
消防費 2,999円	公債費 17,006円	総務費 27,749円
衛生費 7,952円	教育費 15,460円	農林水産業費 12,299円
その他 5,329円	土木費 43,163円	
合計 19万2,409円		

# くらしの向上

昭和五十二年度は、一般会計が十一億三千七百万円の子算でスタートしましたが、何回かの補正を行ってグラフのような決算となりました。

歳入の五十一年度との比較では、柱となる町税が十二・三%、地方交付税は十五・三%の増になり、他に大きく減額となった費目もあって歳入総額では一・八%の伸びにとどまっています。

この伸びをみると、高度成長期に比べ落ち込みが大きく財政硬直化を強く反映しています。

歳出では、民生費が前年度との比較で倍額以上になっているのが特徴で、これは東部保育所と町民

## 民生費が大きな伸び

文化会館の建設など大きな事業が重なったためです。

またこのような事業の場合、補助金のほかに国などから資金を借りて建設費にあてるため、公債費の占める割合も高まる結果となっています。

歳入の中に地方交付税の占める割合が三六%、歳出の性質別内訳では投資的経費四一%、人件費などの義務的経費三八%で財政の弾力的運用のしにくい形となっており、これは全国的の傾向で今後もさらに続くものと予想されます。

歳入歳出差引では、二千三百九十余万円の赤字となりました。

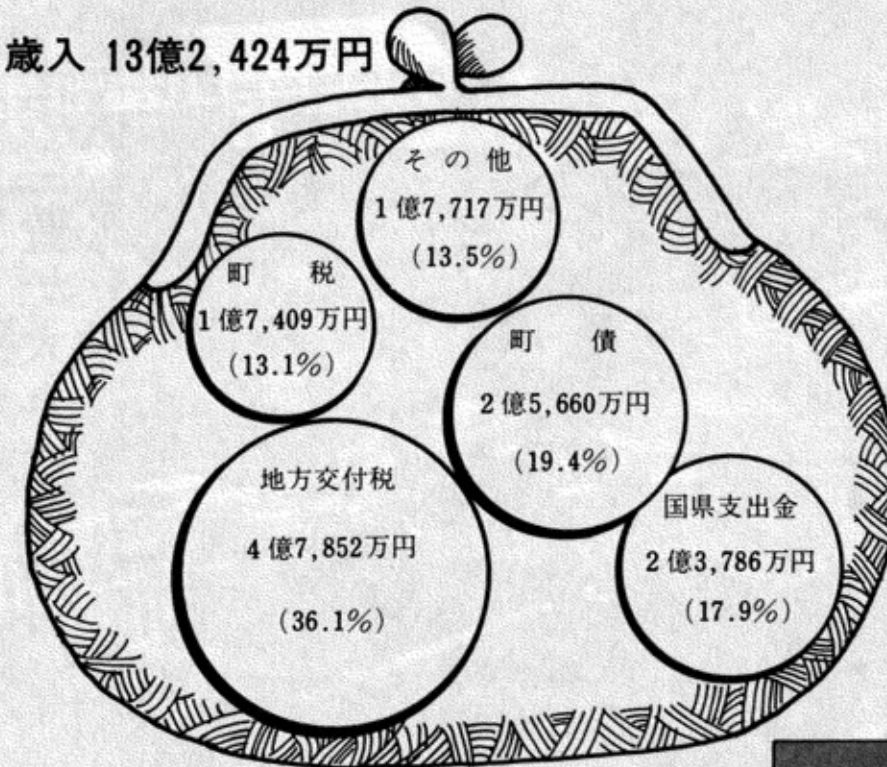
### 歳出 13億0,029万円

その他	商工費	議会費	災害復旧費
2,059万円 (1.7%)	2,551万円 (2.0%)	2,742万円 (2.1%)	3,567万円 (2.7%)

# 一杯の工夫

## 52年度決算

歳入 13億2,424万円



町のお金がどのように使われ、財政はどのように運営されているのか。町の台所はどんなに苦しいのか——などを町民のみなさんに理解していただくために、昭和五十二年年度決算の概要をお知らせします。

民生費  
3億5,560万円 (27.4%)

土木費  
2億9,170万円 (22.4%)

総務費  
1億8,753万円 (14.4%)

公債費  
1億1,493万円 (8.8%)

教育費  
1億0,448万円 (8.0%)

農林水産業費  
8,312万円 (6.4%)

衛生費  
5,374万円 (4.1%)

(歳出については、人件費を各款に分けたものです。)

### 特別会計決算

国民健康保険	歳入 2億0,609万円	歳出 1億8,383万円	差引き 2,226万円
簡易水道	歳入 6,187万円	歳出 6,122万円	差引き 65万円
ガス	収入 8,330万円	支出 8,406万円	差引き △76万円
農業共済	収入 2,361万円	支出 1,879万円	差引き 482万円

### 町有財産

土地	72万5,385㎡
建物	のべ 2万3,943㎡
有価証券	945万円
出資金	182万円
債権	3,712万円
基金	1億0,781万円

### 町債 (町の借金)

■借入先	52年度末
大蔵省資金運用部	7億6,165万円
郵政省簡易保険局	1億3,429万円
県・銀行ほか	2億9,055万円
合計	11億8,649万円
■使いみち	
過疎対策	5億0,197万円

土木	2億8,511万円
民生	1億3,806万円
教育	1億1,125万円
保健	5,071万円
老人	2,952万円
財政	2,580万円
農林	1,229万円
町営	1,085万円
災害	972万円
消防	508万円
その他	613万円



# 53年度 予算の収支状況

10月末現在

## ■一般会計

内 容	入		出	
	子 算 額	収 入 済 額	子 算 額	支 出 済 額
町 税	1億 7,998万円	1億 1,777万円	2,496万円	1,248万円
地 方 譲 与 税	1,240 "	347 "	3億 6,242 "	1億 6,610 "
地 方 交 付 税	5億 2,694 "	3億 8,367 "	1億 6,825 "	8,645 "
分 担 金 及 び 負 担 金	2,077 "	1,147 "	6,942 "	4,455 "
使 用 料 及 び 手 数 料	746 "	442 "	7,733 "	979 "
国 庫 支 出 金	1億 0,876 "	3,325 "	2,068 "	1,899 "
県 債 支 出 金	1億 0,444 "	1,222 "	2億 3,963 "	8,016 "
繰 上 入 金	1,000 "	—	2,644 "	1,091 "
繰 越 収 入 債 他	2,394 "	2,394 "	1億 2,113 "	5,346 "
諸 町 支 出 の	6,122 "	1,081 "	1億 2,239 "	1,693 "
そ の 他	3億 3,570 "	—	1億 5,299 "	6,266 "
	1,605 "	890 "	2,202 "	312 "
合 計	14億 0,766万円	6億 0,992万円	14億 0,766万円	5億 6,560万円

## ■特別会計

国民健康保険	子 算 額 2億 0,726万円 収 入 済 額 1億 3,251 " 支 出 済 額 8,128 "	ガ ス	子 算 額 1億 2,250万円 収 入 済 額 6,338 " 支 出 済 額 5,991 "
簡 易 水 道	子 算 額 5,863万円 収 入 済 額 3,839 " 支 出 済 額 3,061 "	農 業 共 済	子 算 額 3,112万円 収 入 済 額 2,271 " 支 出 済 額 1,347 "

# 功 労 者 が 受 賞

県政及び町政に対する功労が認められて、次の九人の方が表彰を受けました。

### ■県知事表彰

#### 農林水産部門

大淵鉄太郎さん(82歳) 前原

#### 社会福祉部門

村山道寛さん(42歳) 中山

#### 消防防災部門

広井茂男さん(57歳) 川口一  
小林 馨さん(54歳) 川口五

消防団幹部十五年以上  
地方自治部門

関 玉男さん(46歳) 西倉

古田島友一郎さん(44歳) 川口四

渡辺 勇さん(52歳) 川口二

川上敏夫さん(44歳) 川口五

森山ミツさん(41歳) 川口一

以上町職員二十五人以上

民生委員十五年以上

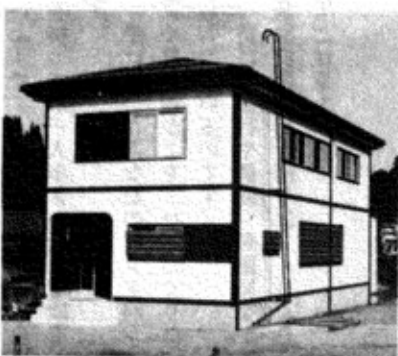
#### 消防防災部門

現在川口郷森林組合長を勤め、長年にわたって林業の振興につくされた功績が認められたもので、合併前の田山山長と川口町長などを歴任しています。

町長表彰は、町の条例に基づいて各分野において功労のあった者に贈られるもので、四十九年から始められ五十九人の方が表彰されました。



町長表彰は、町の条例に基づいて各分野において功労のあった者に贈られるもので、四十九年から始められ五十九人の方が表彰されました。



## 小高に開発センター

旧小高分校あと地に集落開発センターが完成し、地元関係者をよろこばせています。センターは木造二階建てのモダンな建物で、町が補助事業で建設したものです。内部は会議室、研修室、料理講習室が作られ、会合や行事に利用できるようになっていきます。

## 教育委員など選任

町は、非常勤の特別職員のうち任期が満了した者の後任に、議会の同意を得て次の二氏を選任しました。

### ■教育委員

覚張健吉さん(65歳) 長坂

農業 任期四年

### ■固定資産評価審査委員

桜井浩弥さん(42歳) 大谷内

森林組合勤務 任期三年

## 学童の安全を

高速自動車道工事で安全対策協議会発足

関越自動車道の建設工事が町の



## 郵便局から

年賀状は12月20日までに

小包は12月15日までに

### ■年賀状

12月15日から20日まで

あて名をはっきりと

○町○丁目○番○号 ○○様方

を忘れずに。郵便番号は正しく

はつきりと

小包の包装をしっかりと

水気のあるのはポリ袋に入れて

外装は強いダンボールで

荷札は必ず二枚

## 善意の人

### ■社会福祉事業に

五万円 川口一 山吉正子

三万円(公演剰余金) 川口町青年団

一万円 木沢 星野徳一

### ■保育所児童に

ズツク他、六十足 川口五 鈴木与吉

### ■老人憩の家「末広荘」に

掛軸、二幅(書) 川口一 中林宗衛

(鷲橋老漁 中沢雪城 寄書)

放送設備 東部老人クラブ

つば、置物 東部老連会長

将棋、二組 川口三 内藤武二

### ■ねたきり老人に

おしめ他、三〇〇枚 保健衛生活動推進員

## 募金活動に感謝

川口町青年団から

## 人口の動き

男 3,285人 (-3)  
女 3,481人 (+4)  
計 6,766人 (+1)  
世帯 1,528世帯(-1)  
11月末(前月比)

「日本青年館建設募金活動」としての「がらくた市・廃品回収」は、みなさんの協力によって好成績をあげることができ、誠にありがとうございました。これからも多面的な活動によって、青年として明るい町づくりに関与したいと存じます。

## 貯金(目標) 1,540万円

### 貯蓄のアンケート

町貯蓄推進委員会がまとめたアンケートによると、世相を反映して貯蓄に対する関心が高い反面、借金も上手に活用する考えが強いようです。

- 貯蓄をしている.....98%
- 貯蓄の額は 最高.....500万円
- 最低.....5千円
- 平均.....190万円
- 目標額は 最高.....3億円
- 平均.....1,540万円
- 理由は 病気や災害のため.....35%
- 子供のため.....21%
- 土地家屋の購入など.....11%
- 車、家具、農具購入.....8%
- 方法は 毎月、定額を.....29%
- 毎月、額不定.....16%
- 金のあるとき.....55%
- 借金をどう思うか
- しない方がよい.....21%
- やむを得ない.....32%
- 借金を上手に活用する.....41%
- 借金は ある.....60%
- ない.....35%



# 正しい明るくみんな

## 泥棒は心のスキをねらっている

十二月は、一年の締めくくりの月であり、ふだん落ち着いている先生も走り出す(師走)というほど忙しく、あわただしい月でもあります。その上、毎年十二月は、犯罪や交通事故、火災などが、ふだんの月より増える傾向にあります。

私たちの周囲から犯罪や事故を無くし、恵まれない人には、愛の手を差し伸べ、みんながそろって新しい年を迎えたいものです。

### 一人歩きは危険



老人と女性——金融機関の行き帰りや人通りの少ないところで、ひたたくりがねらうのは、ひ弱なお年寄りと婦人です。

いくら大金を身につけていると分かっていても、見るからに強そうながつりした体格の男性には、ひたたくりも、一目、おく場合が多いようです。老人と女性の、大金を持つての一人歩きが最も危険です。

手に持ったあなたのハンドバッグや買物かごを、ひたたくりはねらっているのです。

特に、銀行や農協、郵便局など金融機関の行き帰りは、くれぐれもご注意を。

### 空き巣ねらい

## 外出には必ずかぎかけて

「ほんのちよつと」が被害のもと



年末は、大掃除やお正月の支度などで、なにかと気ぜわしくなります。

空き巣ねらいは、そんな気ぜわしさの中の、ちよつとしたスキをねらっているのです。

「近所のお店だし、ほんのちよつとの買物だから……」と玄関のかぎをかけずに出かける——実は、これが危ないのです。というのも、空き巣ねらいにとって、三分五分もあれば、「一仕事」できるからです。

いま、全国で三分に一件の割合で空き巣の被害が発生し、その約半数が、かぎのかかっていない玄関や勝手口、トイレ、浴室の窓などから侵入しています。

「ほんのちよつと」の積もりが、買い物先で知人にとりあつて、つい立ち話。あつという間に二十分、三十分——あわてて家に帰ったものの、すでに空き巣に入られた後、などということにならないように、かぎと心の戸締まりをお忘れなく。

ちなみに、五十二年度の空き巣による被害額は、全国で約九十七億円、一件平均約六万円となっています。

### 火災発生

## 煙の恐ろしさ

### 窒息、中毒、酸欠



最近では、火災による死者の多くが、煙によるものといわれます。たしかに、私たちの身の回りに、新建材(合成樹脂系)を初め、繊維やプラスチック製品など、いったん火災が起きると、多量の有毒ガスや煙を出す。危険な、生活必需品がいっぱいです。このようなガスや煙を吸い込むと、呼吸困難や中毒を起こして、やがては死を招くことになるのです。

煙の恐ろしさをよく知っておくことも、火災から身を守るうえで大切なことの一つです。

【窒息の危険】

煙に含まれるススを吸うと、肺の細胞に詰まり、窒息します。

【中毒の危険】

不完全燃焼によって発生する一酸化炭素が、空気中わずか1%の濃度でも、これを三十分間吸うと死亡します。

【酸欠】

物が燃えるにしたがって、空気中の酸素は減っていき、空気中には2%の酸素が含まれていますが、これが1%になると呼吸困難に陥り、体の自由が利かなくなり、窒息します。

【熱気流による生理的影響】

熱せられた煙を吸い込むと、肺に入り、やけどを起こし、呼吸を困難にします。

【視覚障害による精神的影響】

煙に取り巻かれると、ススが視界をさえぎり、真つ暗やみにいるのと同じ状態になり、不安感や恐怖心を起こし、判断力を鈍らせま

### 飲酒運転

## 死亡率は平均の三・二倍

——二世帯に一台の割合で乗用車を持ち、二・二人に一人が運転する——クルマは、私たちの生活に、より一層身近なものとなりました。

ところで、成人男子の八割は酒を飲むといわれます。国民皆免許時代といわれる一方で、酒が日常広く親しまれる——酒運転や酒気帯び運転の危険性を宿しているといえます。

酒酔い運転による死亡事故は、スピード違反、わき見運転に次いで多く、その死亡率たるや、平均の三・二倍という高率です。

一年末年始は、特に飲酒の機会が多くなります。「この程度なら大丈夫」——これが一番危ないので、くれぐれもご注意を。

## ブレーキの踏みおくれやスピードの出し過ぎ

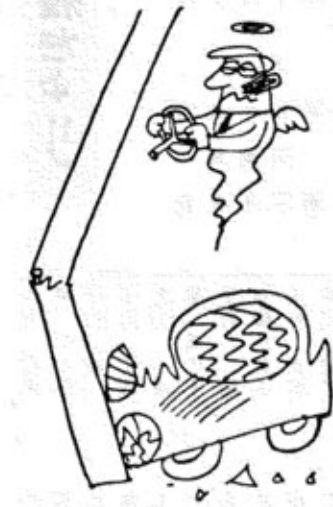
「ちよつと一杯が事故のもと」



アルコールドライビングは、自分は大丈夫だと思つていても、理性をマヒさせ、判断力を鈍らせるところに、その怖さがあります。

運転中、信号を見忘れるなど、注意力が散漫になったり、歩行者に気が付いても、ブレーキ操作が間に合わないなど、正常時に比べて動作の遅れが目立つようになります。

上野 佐・日本大学医学部教授の「酒一合——ほろ酔い時の運転実験」によりますと、運転技能は、飲酒後三十分で最も悪くなり、以後、徐々に回復したものの、二時



ふらつきが見られました。また、交差点では、方向シグナルを出し忘れたり、安全確認をおこたつたり、また停止位置が不安定になり、通行区分が守れませんでした。

飲酒は、反応を鈍らせ、注意力を散漫にします。「ちよつと一杯ぐらい……」の気のゆるみが、最も危ないのです。